

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月25日

事業所名:大田区立こども発達センターわかばの家
(親子通所)

保護者等数(児童数) 30 回収数 23 割合 77 %

区 分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	21	2			・2部屋に別れて様々な活動できるので良いとおもいます ・広々と遊んでいます	引き続き、個々の子どもが安心して活動できるよう、環境設定を工夫していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	23				・保護者もいるので適切かと思えます ・とても手厚いです	・基準以上の職員配置がされています。グループ担当職員の他に非常勤で多種専門職(心理士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等)の配置があり、連携を重視したチームでの療育体制を取っています。 ・今後も職員の専門性を高める努力をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※11になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか	22			1	・イラストをはり、視覚的にも覚えやすく工夫されています	・視覚的に見てわかりやすいように表示したり、生活に必要な活動の流れ、活動の場所、療育者の顔等、写真カードなどを用いながら、子どもの理解を促しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか	22	1			・安心して過ごせる場です ・とても清潔にしておさっています	・生活空間は毎日療育終了後に、丁寧に掃除していることに加え、業者の定期清掃が入る等、清潔保持に努めています。 ・感染防止対策としては、使用した玩具や遊具、ドアノブ等のアルコール消毒、換気などを行っています。 引き続き、清潔で安全な環境を保てるよう努めていきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されていますか	23				・他の子や職員の方に対して関心ができているのがわかります ・とても丁寧です	引き続き、一人ひとりの子どもへの理解を深め、適切な個別支援計画の作成に努めていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン、「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21			1	・親ではできない手厚い支援をしていただいています	・児童発達支援ガイドラインを職員全体で確認し、引き続き個々のお子さんやご家族に必要な支援内容を適切に具体的に設定出来るよう努めていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか	23					引き続き、個別支援計画に基づき、保護者との共通理解を形成しながら支援していくよう努めます。
	8	活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されていますか	23				・毎回好きなことではないのが、家と違って偏りなく良いと思います ・子どもがあきないプログラムがよく組まれています	引き続き、子どもたちの発達の状態に合わせて、どの子どもにもわかりやすく、楽しめる活動内容や設定の仕方を工夫していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか	11	4	6	2		・親子通所では、本来、親子での遊びや活動を通しての療育を集中的に行っています。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	21	1			・その都度説明頂きました	・契約時に、わかりやすく丁寧に説明していくことを心がけています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	20	1		1	・とても丁寧に作成、説明して頂けました。ありがたいです	・子どもの現状と保護者のニーズを把握し、支援計画を作成しています。内容を保護者に説明し、同意を得て支援を進めています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われていますか	20	1	1		・活動の中で親も対応を学べます	・親子通所療育自体を支援プログラムとして考えています。 ・小児神経科医や、各専門職による勉強会、及び個別指導を通して保護者への支援を行っています。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	22				・面談や毎回の連絡帳でのやり取りで伝えることができるので、ある程度は大丈夫かと思います ・毎回紙で質問し、つど丁寧に回答いただいています	引き続き、日々の様子や、連絡帳の情報などから、お子さんの発達の状況やかかわり方を保護者と確認しながら、共通理解の形成に努めていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	22				・面談や毎回の連絡帳でのやり取りで伝えることができるので、ある程度は大丈夫かと思います ・もう少し面談の時間があるといいかと思います。少し面談時間が少ない様に感じました ・悩みが多い時は個別に声をかけて面談をして下さいます	順次、個別面談を設定していますが、ご意見を踏まえ、必要に応じた対応ができるよう努めていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか	8	6	3	5	・保護者同士の連携については、私の中ではあまり感じないです ・なかなか他の保護者とゆっくり話す機会はないと感じています ・わかりません	新型コロナウイルスの影響により、見合わせていた「日曜日参観」を、今年度は感染防止に注意した形で実施しました。 保護者同志の交流の場として、ホール開放を今後の状況を見ながら、検討していきたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	21	1			・本人の癖や悩み事など各分野の職員の方が丁寧に説明してくれるので、こちらも行動に移しやすいです ・とても親身になって相談に乗ってもらったのでとても助かりました	保護者からの相談などの申し入れは、内容によってグループの療育者、専門職、小児神経科医(診察)など、いろいろな職種が、できるだけ早く対応するように心掛けています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか	22					・子ども達には手本を示したり、視覚的情報を使って、分かりやすく伝え、その上で、個々の気持ちを汲み取り代弁していく等により、意思疎通を図るよう努めています。 ・保護者への情報伝達は、連絡帳やお知らせの配布等、わかりやすい伝達方法を工夫しています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか	17	1		4		・毎月「お知らせ」「ほけんだより」を配布して、活動予定や必要な連絡事項等の発信をしています。 ・自己評価の結果については、毎年、区のホームページ等で公開されますが、保護者にわかりやすい発信の仕方を工夫していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されていますか	22					情報セキュリティマニュアルを整備し、取扱いの注意を徹底しています。 引き続き注意していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	20	2			・流行っている感染症などの注意喚起や予防の仕方などお手紙で頂くので解りやすい	・各種マニュアルは策定していますが、実態や状況に応じた見直し、修正をする必要があります。 ・保護者への周知・説明が不十分な点や防犯訓練が実施できていない点等、今後改善に努めていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	22				・館内放送での音でよりリアルに訓練できる。外に出て防災頭巾も親子で被るなど ・毎回しっかりとした取組がなされていると思います	・避難訓練を定期的に実施しています。 ・大規模災害等を想定し、いざというときに現実的に対応出来るように、引き続き訓練の内容や実施の仕方を検討していきます
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	23				・本人の中で安心できて楽しい場所になっているので、向かっているときから楽しそうです ・とても満足しています。本当にありがとうございます ・毎回楽しみにしています	今後も、楽しみに通っていただけるよう、子ども達が安心して過ごせるような環境設定や興味・関心にあった活動を工夫していきます。
	23	事業所の支援に満足していますか	23				・家に居たら出来ないことばかりなので、通えてとても満足しています ・もう少し保護者同士の意見交換が出来るとう嬉しです ・単独通所が定員が少なく入れない。単独通所を増やしてほしいです ・大満足です	引き続き、親子が満足できるような療育及び支援に努めていきます。

(注釈)

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※2「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。